

事業者向け

児童発達支援 自己評価表

公表

令和3年 3月11日

事業所名 ここ ぶらす日赤通り

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環 境 ・ 体 制 整 備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		活動内容によっては、併設する事業所の部屋を借りたり、公園へ出かけてより広い場所で活動する場合がございます。	
	②	職員の配置数は適切である	6		配置基準に於いては、有資格者多数の為、満たしております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所への設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		視覚支援を使用しながら文字や写真で分かりやすく環境設定を整えています。 先の見通しが分かる様に、1日のながれをスケジュール化しております。	
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもの活動に合わせた空間となっている。	6		パーティションで空間を仕切る事や個別活動に集中して取り組める様にしていきます。 換気や除菌を毎日行っております。	
	⑤	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1		

業
務
改
善

⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		定期的に、アンケートにご協力頂いており、ニーズを把握し支援に反映させる様、努めています。	
⑦	事業所向け自己評価表および、保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			
⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		毎月1回、療育の質の向上を目指した研修や意見交換等の場を設けております。	

適切な支援の提供

⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成している	6			
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		発達検査の結果や、太田ステージなどの評価を基に、利用者の発達段階を把握する様に努めております。	
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	6			
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		ここぶらす、ここぶらす出仲間、ここぶらす八王寺の3事業所のスタッフが集まり、合同の会議を行う中で、意見を出し合って活動プログラムを組んでいます。	
⑮	活動プログラムを固定化しないよう工夫している	6		季節に合わせた活動の年間計画を立て、担当を割り振ることで、バリエーションのある活動を行っています。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			

⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		朝礼の際に、活動の目的や着目点・ねらいを共有しております。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	6		職員全員でその日の支援の改善点や気づき等を共有し、次の支援へと繋げられる様、努めております。	
⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		毎日、支援記録の記入を行い、療育の振り返りを行っております。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		情報提供として、保護者と相談支援専門員に活動の様子（写真入り）を書面にまとめ、お渡ししております。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者と	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		園や保健師、児童相談所等と情報共有し、支援を行っております。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連絡体制を整えている。	5	1	関係機関との連絡体制を整えながら受け入れを行っております。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関などと連絡体制を整えている	4	2		必要に応じて医療機関と情報共有をさせていただきます。
	㉔	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		園への情報提供を連絡帳や園訪問の際に行っております。	園の担任の先生へのヒヤリングや現場見学の強化により、支援の幅を広げていきたいと考えております。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	学校への情報提供を行っております。	
	㉖	他の児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	巡回訪問へ来て頂き、助言やアドバイスを頂きながら連携をしております。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会がある		6	公園遊びなどを通じて地域の多様な方々と交流しています。	
	㉘	(地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4	ネットワーク会議等へ積極的に参加をしています。	

の 連 携	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		連絡帳やお電話、メール等のツールを使用しながら情報交換を行っております。ご要望があった際、随時面談を実施しております。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	1	保護者同席のもと、言語療法やビジョントレーニングの中で家庭で実践出来る支援を提案させて頂いております。	

保護者への説明責任等	③②	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び、支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	③④	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		保護者より電話や連絡帳を通してご相談があった際、丁寧に回答し職員間で共有をしております。	相談の対応後は、時期を見計らいながらその後の状況確認の追いつけを強化させて頂きたいと考えております。
	③⑤	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2		現在、計画中の為、来年度に於いては、保護者同士の繋がりを目的とする場を設けていきたいです。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		相談があった際、職員間で打ち合わせや話し合いを重ね、迅速に対応を行っております。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		イベント案内等を毎月配布し、取り組みに関する情報発信を行っております。また、連絡帳やメール等を通して、確実な連絡を行っております。	
	③⑧	個人情報に十分注意している	6		席を外す際や退社時には、個人情報が流出しない様、努めております。	療育室に於いても、個人情報等を伏せながら対応させて頂きます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	事業所で開催の夏祭りを行っておりますが今年度は三密となる為、中止させて頂きました。	
非常時の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	4	年に1回、防災センターへ行き火災・地震・台風の体験をさせて頂いております。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っている	2	4	三密になる為、現在は中止しておりますが計画の立案はしております。	
	④⑬	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		契約時に確認をしております。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		契約時にアレルギーの有無を確認しております。	アレルギーの方に関しましては、必要があればおやつの変更など対応致します。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		日々ヒヤリハットを必ずあげる様にしており、怪我や事故につながる行動を職員が予測出来る様、努めております。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		年に1回、職員研修の中で実施しております。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	6			